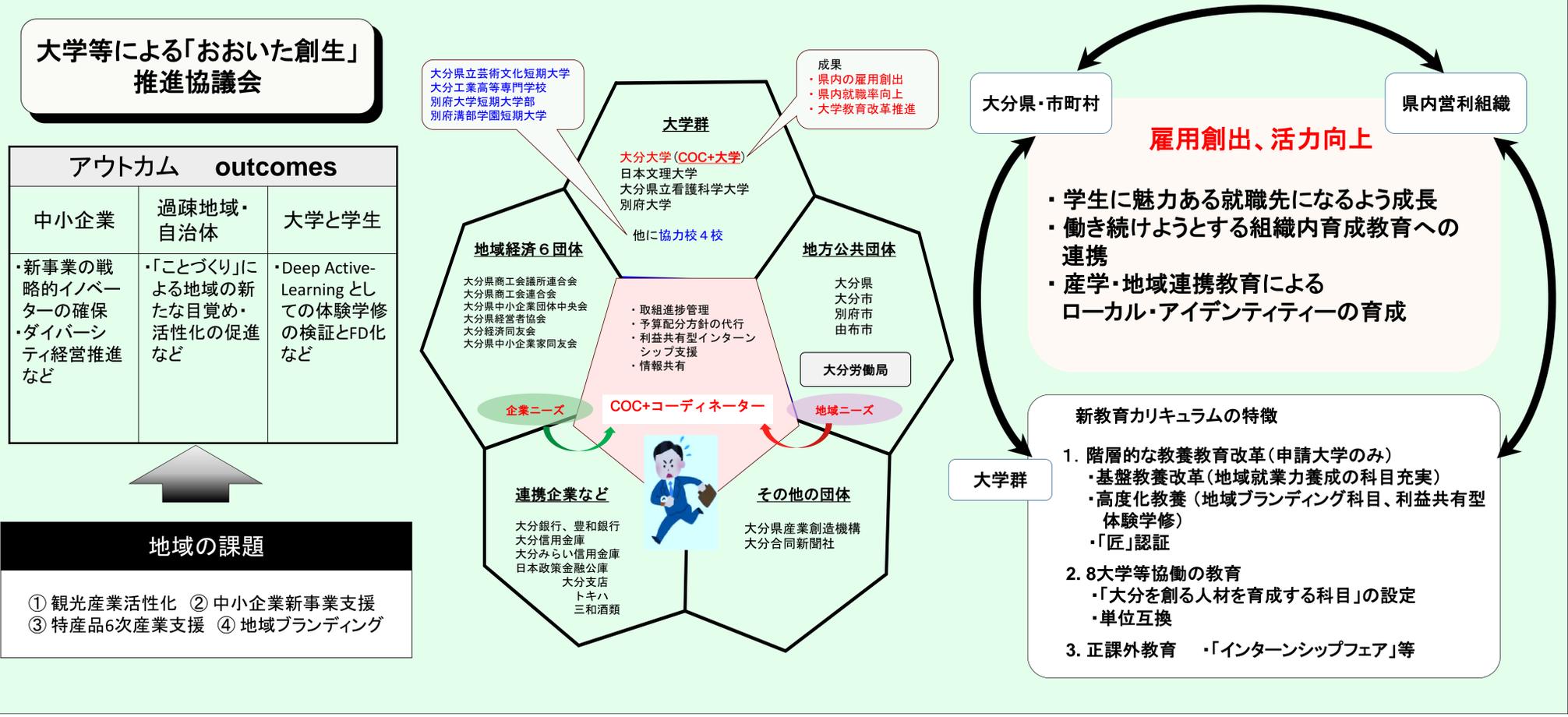


参加校 大分県立看護科学大学(COC校)・日本文理大学(COC校)・別府大学  
 参加自治体 大分県・大分市・別府市・由布市  
 参加企業 大分県商工会議所連合会・大分経済同友会・大分県産業創造機構、大分銀行・三和酒類・トキハなど  
 他(計16機関)

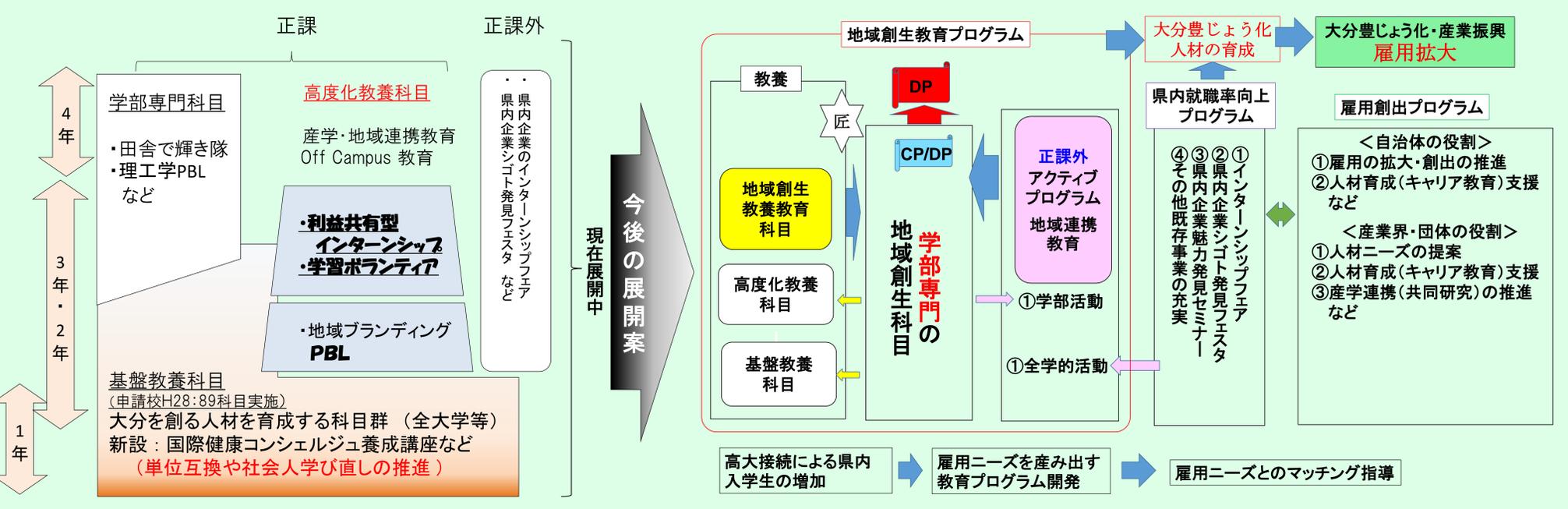
一言  
では

2025年に人口が増加している九州の都市は福岡市のみで、大分エリアの各地区は人口が減少すると推察されています。人口減少と高齢化が加速的に進む大分エリアの活力を維持するには、これまでもまして、若者一人ひとりの人間力が鍵となります。本COC+事業では、「大分を創る人材育成教育プログラム」を地域・企業連携型の教育により展開することで、社会人となった後も「できる」人財となるよう対人、對自己、対課題の汎用的な力とCritical Thinking(批判的思考力)の育成を重要視しています。さらに、この活動を通じて、学生と地域が共に成長することも強く意識しています。

### 事業の概念図

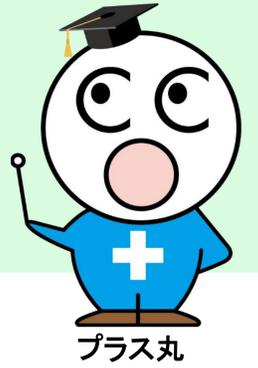


### カリキュラム改革



現在 : 「教養科目」としての地域連携教育 → これから : 「専門科目」と「教養科目」が統合した地域連携教育へ

「情緒的な表現のみで、論理的な言葉で他者に考えを伝えていくことが苦手」や「同じ専門能力を持った他者とは連携できるが、知識を共有していない他者には言葉で自分の考えを伝えることができない」などの学生が、卒業後に多様な人材から構成される実社会で「できる社会人」としてさらに成長を続けるために有効な「地域連携教育とは何か」を本事業で試行錯誤して追求していきたい。



## 地域創生教育プログラムのエッセンス紹介

### 1. 大分を創る人材の育成のために～新入生の意識調査～

COC+事業の最初の入学生を対象にした意識調査を行い、授業改善や就職に関する支援・状況把握等の基礎的な考察を行うために実施した。

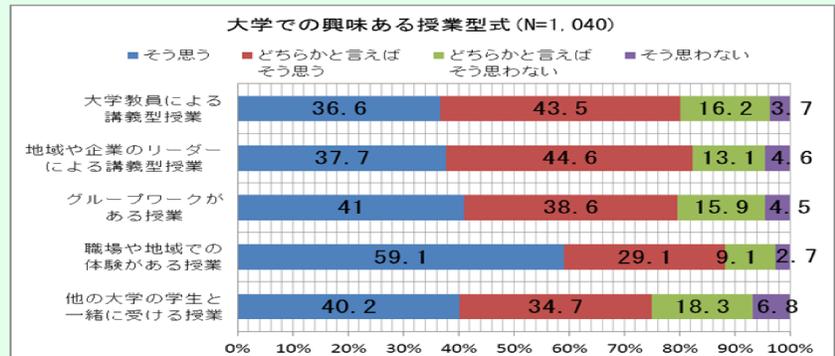
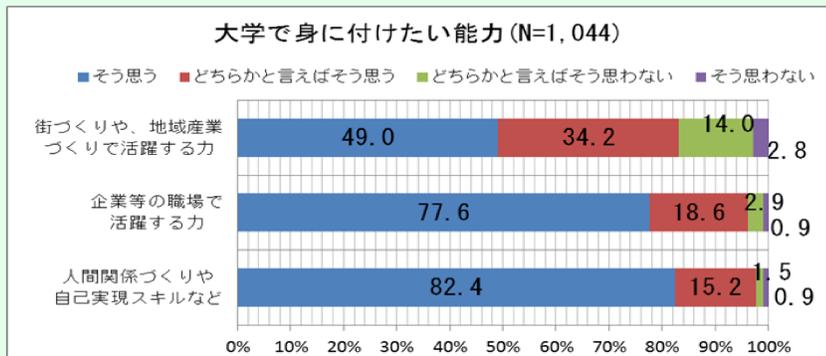
1. 調査実施期間:平成28年7月7日～7月27日

2. 調査方法

学部ごとに、1年生全員が対象となるように調査のための科目を設定して、担当教員又は事務局が直接実施した。

3. 調査回収数:1,045名

教育学部:140名 経済学部:291名 医学部:158名 工学部:355名 福祉健康科学部:97名



### 2. 「大分を創る科目」の開講～平成28年度開講～

教養教育における地域創生教育の科目は、基盤となる教養教育の「大分を創る科目」と、より高度な教養教育の「大分を創るトップアップ科目」で構成しており、地域志向・就業力向上に向けた教養教育の再編と充実化を行うものです。「大分を創る科目」は全学生2単位取得が必須です。さらに、学部・学科の専門教育や就職支援と往還させて教育効果を向上させる高度な教養科目においては、地域の活性化を見据えたフィールドワークの実施、起業家・企業人育成を視野に入れた高度なインターンシップの考案・実施など、学生の能動的学習や課題解決能力の向上を目的とした産官学連携の教育プログラムの構築を行い、高度かつ有為な地域人材を育成し、地域の雇用創出と就職率の向上を図るものです。

＜汎用力育成のコンセプト＞企業や地域を豊じょう化するための対課題基礎力、対人基礎力、對自己基礎力等の汎用的能力を育成する。

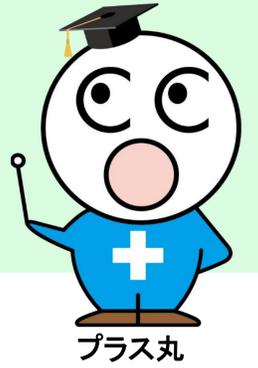
＜企業力育成のコンセプト＞大分県を中心とした企業(職場)をフィールドにした豊じょう化力としての「企業理解」「企業への関心」「企業課題への対応能力」を育成する。

＜地域力育成のコンセプト＞大分県を中心とした地域をフィールドにした豊じょう化力としての「地域理解」「地域への関心」「地域課題への対応能力」を育成する。

平成28年度から開講した「大分を創る科目」は企業力育成科目:15科目、地域力育成科目:21科目、汎用力育成科目:55科目の合計91科目です。

＜企業力育成科目＞	＜地域力育成科目＞	＜汎用力育成科目＞
企業と労働	大分の水Ⅰ	初等教育のためのものづくり
日本経済入門	地域と情報	社会調査の基礎
人間・労働と技術の現代史	自然災害と防災の科学	カタリバでキャリアを拓く
経営学の基礎	少子高齢化と地域福祉社会	学習意欲の心理学
経済学を学ぶ	高齢者の身体機能と疾病の特徴	「読むこと」と自己開拓
企業会計の基礎	運動器疾患の治療と予防	学びと生活の探求
企業ファイナンス入門	健康科学概論	保育学基礎論
簿記の基礎	プロジェクト型学習入門	手作り絵本の楽しみ
経済学で物事をみる	大分の地域資源	学習ボランティア入門
事業創成入門	大分の人と学問	人類の知的遺産と向き合う
中小企業の魅力の発見と発信	大分県の歴史	創造的思考法
知的財産入門	田舎で輝き隊!	国際健康コンシェルジュ養成講座
その他	その他	その他





## 県内就職率向上のための取組

### 2016 地域と連携したインターンシップフェア実施

#### 1. 2016インターンシップフェア開催(7月3日 ホルトホール大分)

県内有力企業・自治体20社の協力のもとインターンシップフェアを開催。このフェアは、**就職目的のインターンシップではなく、「仕事を知ること」「自分の適性を知ること」を目的**とした、各社のインターンシッププログラムの紹介とした。1年生から参加が可能。企業・自治体を仕事体験プロセスごとに分類。自分の興味のある仕事体験軸で比較検討できる仕立てとした。また**成果発表大会も合同で実施すること**を参加条件として設定した。総勢271名の学生の参加を得ることができ、盛況であった。



#### 2. 2016夏季インターンシップ実施(7月~9月)

インターンシップフェアより、延べ84人の学生が、15社の企業・自治体にて、インターンシップに参加。原則3日以上プログラムの就業体験に臨んだ。学生の満足度としては、非常に高い結果を得られた。



#### 3. 2016夏季インターンシップ 合同成果発表大会(10月2日 大分県正庁ホール)

大分大学、日本文理大学、別府大学3校の学生53名が参加。単なる成果発表会だけでなく、複数の異分野企業と学生が、アクティブラーニング形式で「対人力、対課題力、対自己力」でまとめられる汎用力の重要性に自発的に気付くグループワークを展開。このような地域における、大学と企業が一緒になって展開したインターンシップ教育は、これまでにない新しい取り組みであり、**地域で学生を育成していく第一歩を踏み出したことに重要な意義**があった。



### 今年度、計画している大分県内の産学官連携イベントについて

#### 1. 県内企業「シゴト発見フェスタ」(12月10日 大分大学)

**目的: 学生に仕事軸で就職先を探せるようにする**

企業軸・環境軸ではなく、仕事軸で就職先を探せるようにする  
※その結果、地元で働く選択肢も検討できるようになる

対象: 大学1・2年生 短期大学1年生 高専4年生

コンセプト: 好きこそ、ものの上手なれ! 好きを強みに、強みを仕事に!

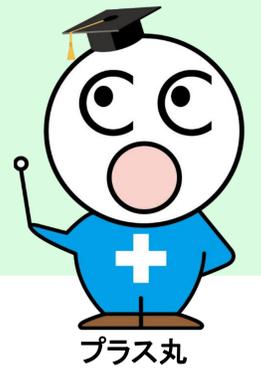
#### 2. 県内企業「魅力発見セミナー」 2月下旬を予定

**目的: 将来の職業選択において、県内就職を視野に入れさせる**

県内の知名度はないが将来成長が期待できる有望企業に訪問し、経営者や社員との交流を図る

対象: 大学1・2年生 短期大学1年生 高専4年生





## 2016 地方創生大学等連携プロジェクト支援事業の内容

この**大分県予算による**事業は、地方創生に貢献できる若者の育成と地元定着の推進を目的とし、COC+事業では十分に展開できない活動を支援するものです。今年度は、下記の学生主体の地域活動(1)と社会人が地域創生やそのきっかけを学ぶ取組(2)を実施しています。

### 1. 学生による地域ブラッシュアッププログラム2016

学生が地域に出向きその地域の魅力や特徴を知ることによって地元就職や地域定着につなげる活動です。地域の人と交流し、地域磨きのお手伝いをします。

- ・地域資源を活用した地域観光プロモーション活動プロジェクト
- ・おおいた地域創生リーダー養成講座～地方創生時代に活躍できる社会人を目指そう～
- ・住民参加による中心市街地の賑わいづくりーまちなか巨大絵画展示大作戦
- ・学生による「紛争に強いまちとひとを創る」プロジェクト
- ・「野生鳥獣肉(ジビエ)を活用した地域料理の開発」
- ・「学生がつなぐ地域と大学ーおおいた防災・減災ボランティアプロジェクト2016ー」
- ・自治体・高校・大学連携による公共交通の利用促進プロジェクトの実施
- ・大学観光バーチャル体験プロジェクト



### 2. おおいたプロモーションプログラム2016

若手社会人の知識教養を深め地域に貢献できる人材の育成を図るサテライトキャンパスおおいた支援事業です。おおいたを楽しもう！をコンセプトに毎日が楽しくなるような講座を準備しています。

- ・『生きがいのある暮らし創るデザインワークショップ』
- ・「看護によるものづくりを考える」
- ・You Tuber(ユーチューバー)養成初級講座ーおおいたの魅力発信！ー
- ・大人のためのものづくり講座
- ・大分の恵み再発見
- ・おおいた森のかおりとアロマセラピー～精油(アロマ)の魅力と体験～
- ・大分の地域を元気にしている担い手訪問バスツアー